

# 2019 年度 事業報告書

あす ひかり  
未来の星委員会 委員長

小川 恭子

## 1. 事業内容

- (1) ハンドブック作成・販売
- (2) 4 月例会
- (3) ソウル江南青年会議所 44 周年公式訪問
- (4) 10 月例会
- (5) 忘年会

## 2. 所感

2019 年度は未来の星委員会は、時代の変化に柔軟に対応し、長岡の未来<sup>あす</sup>を創る人財へと成長することを目標に一年間活動して参りました。委員会スタッフやチーフ等の一部の人だけが活躍するのではなく、全ての委員会の担当事業を自分ごととして捉え、誰一人取りこぼすことなく活躍できる委員会運営を行なって参りました。

まず、ハンドブックの作成では、例年、在庫が多く残り、廃棄処分になってしまっていることを踏まえ、SDGs の観点や経費節約のため、発行部数を大幅に削減しました。確認作業を入念に行い、間違いを撲滅すること、また OB の方への販売もなるべく新年例会での販売を心がけ、事務局受け取り分の在庫についても残さないよう努めて参りました。しかしながら、年後半にかけて、事業が忙しくなり、新入会員の分のシールの作成については、業者様に任せきりになってしまい、確認作業をおこたってしまったことは反省すべきでした。

4 月例会では、株式会社 TooT の代表取締役社長である榊野恵也氏を講師としてお招きし、「イノベーション創出の発信地を「長岡」に！～パンツは世界を平和にする～」を開催致しました。講師の榊野氏の経験から、新しいことへの挑戦、変化への柔軟な対応、一人一人の多様性が重んじられる時代に突入し、私たちは何をすべきなのか、イノベーションの概念を学んでいただき、新たな価値を創造するとはどういうことなのか気づきを与えることができたと思います。

ソウル江南青年会議所 44 周年公式訪問では、式典が盛大に行われ、また江南 JC メンバーから手厚くおもてなしをしていただき、次年度 LOM の周年を開催する立場として多くの学びを得ることができました。また、国境や文化の違いを乗り越え、同世代の青年会議所メンバーとの友情を育むことができ、大変素晴らしい経験ができたと思います。

10 月例会では、「長岡若者 AWARD～超一流地方都市・長岡の未来<sup>あす</sup>の星<sup>ひかり</sup>となれ！」を開催致しました。地方の企業が抱える人財不足の問題について、AI や外国人労働者の受け入れ、若者・女性活躍等の様々な視点から、委員会メンバー全員で何度も話し合い、一人一人の若者が個性を発揮し、活躍することが、企業を支え、まちを支える大きな力となると信じ、設営を行いました。例会では若者の長岡へ対する熱い想いをプレゼンしていただきました。全ての出場者の素晴らしいプレゼンに心を打たれ、刺激を受けることができ、若者の力で長岡を盛り上げていけば、超一流地方都市・長岡が実現できると確信しました。

忘年会では、「感謝」をテーマに設営を行いました。ご卒業生へ、家族へ、理事長へ、委員会メンバーへ、メンバーが想うたくさんの感謝のかたちを設営面に盛り込むことができたと考えております。最後まで、当委員会の担いでもある一年間培ってきた発想力を十分に発揮し、上村理事長が掲げる ALL OUT の集大成を成し遂げることができたと実感しています。

黄昏の空に現れた一つの小さな星は、少しずつ輝きを増し「星の道標」へと変わる。その星々が、やがてつながり星座を描くように、人とひとがつながり合える「奇跡の星<sup>ひかり</sup>」としていつまでも輝き続け、夢あふれる長岡の夜空を明るく照らし、未来<sup>あす</sup>を創造する。

上記の委員会歌にあるように、一年間、未来の星委員会の活動を通して、メンバー全員が長岡を照らす「未来の星」<sup>ひかり</sup>として成長できたと実感しております。

最後に、一年間厳しい言葉で妥協せず最後まで導いていただいた上村理事長をはじめ、常に委員会に寄り添っていただき、たくさんのフォローしていただいた深田副理事長、どんなときも委員会としての考えを尊重していただいた今泉常任理事、そして、委員長として、私の力不足で理事会通過まで時間がかかり、実働の時間が短く、集客面や、準備で、委員会メンバーにはしなくてもいい心配や苦労ばかりをかけてしまいましたが、一番の私の理解者であり、最後まで私を支えてくれた委員会メンバーに感謝を申し上げ、所感を終えさせていただきます。

黄昏の空に現れた一つの小さな星は、少しずつ輝きを増し「星の道標」へと変わる。その星々が、やがてつながり星座を描くように、人とひとがつながり合える「奇跡の星<sup>ひかり</sup>」としていつまでも輝き続け、夢あふれる長岡の夜空を明るく照らし、未来<sup>あす</sup>を創造する。

～Be the light that shine on the world～長岡から世界を照らす星